

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 4 年 4 月 14 日

事業名称	会計事務費 [出納事務]							
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 5	会計管理費	事業番号 1	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし) <input type="checkbox"/> 課内庶務等 <input type="checkbox"/> 休止したもの <input type="checkbox"/> 廃止したもの							
担当部署・課長名	会計 課 出納 係			課長名		木村 西		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。 【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現	施策番号				行 - 2			
	総合計画書 (ページ)				122			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 ①税金等の収入金 ②債権者への支出金			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) ①収入票の枚数 ②支出命令票の枚数				
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]適切に処理、管理されている。			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 収入処理及び送金等ができず出納事務に支障があった件数。				
	③ そのために何をしましたか。 ①収入に伴う伝票等(収入票等)を適切に処理する。 ②支出に伴う伝票等(支出命令票等)を適切に処理する。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 伝票処理数				
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標	
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標
	対象指標	①の数値	枚	①10,826 ②39,093	①10,214 ②33,751	①9,904 ②35,180		
	成果指標	②の数値	件	0	0	0		
	目 標	②の目標値	件	0	0	0	0	0
目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。) 適正な処理を行い、出納の支障を0とする。								
3 経費	事業費(実績)		円	9,146,852	9,262,322	9,656,521		
	財源	一般財源	円	9,146,852	9,262,322	9,656,521		
		特定財源	円	0	0	0		
	(うち受益者負担)		円	0	0	0		
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	3.0	3.0	2.5		
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0		
		職員人件費(再任用以外)	円	24,930,000	25,140,000	20,625,000		
職員人件費(再任用)		円	0	0	0			
事業費+人件費		円	34,076,852	34,402,322	30,281,521			
4 課題	今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く 出納事務における合理化(デジタル化等)。							
	5 今後の方向性							
仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く								

※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。
 人件費(再任用職員以外)
 年間単価は、8,250,000円
 時間単価は、4,200円
 で計算してください。
 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)